

## 1 社会資本の概要

JR荒川鉄橋と新荒川大橋の間に、ワンド（池）のある自然地「北区・子どもの水辺」が整備されています。魚類の産卵場所となることで自然環境の保全と併せ、子どもたちの自然体験の場所として利用されています。

また、国土交通省、北区、小学校、市民団体等からなる「北区・子どもの水辺協議会」を設立し、協働による管理・運営を行っており、良好な生態系の保持と多世代に渡る人々の自然環境学習の場として利用されています。



活動場所

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

北区・子どもの水辺は荒川の流れだけでなく、常に東京湾からの潮の影響を受ける汽水性の感潮区間で、河川の勾配も1/5600（1kmでわずか18cmの高低差）と極めて緩やかです。このために、細かい粒子で出来た泥の堆積が多く、上流から流れてきたゴミだけでなく、上げ潮に乗ってきたゴミの堆積あるいは潮の影響を受けた魚が生息することが特徴と

なっています。

維持管理の工夫としては、周辺のスポーツ施設に降った雨水を自然勾配で水辺に取り入れることで池の水を循環させていることや、大池の上流部に生息しているヨシをあえて残すことで、増水時の水流を緩くしたり、ゴミが池に入るのを防止しています。



抽水植物刈取り



底泥洗い

## 3 地域への成果や波及効果等

体験学習へのサポートやイベントの参加、広報などで参加者の輪が広がり、2013年度の活動参加者は小学生・幼児合わせて1968人、大学生以下731人と若い世代の参加者が定着しています。国、区、地域、関連市民団体、小学校等が連携することで、若い世代が自然を学ぶ機会を多く作り、地域活動の拠点となっています。



小学生の体験学習



小学生の体験学習

### 喜びの声



#### ●受賞者

北区・子どもの水辺協議会  
副代表 太田桐 正吾

#### ●コメント

この度は手づくり郷土賞一般部門授賞ありがとうございます。これまでの活動がこのような形で評価されたこと、会員一同喜んでおります。この受賞を励みに今後も良好な生態系の保持と多世代が自然を学ぶ拠点となるように活動を続けていく所存です。

#### ●活動内容

- ・保全維持管理活動
- ・調査・観察活動
- ・体験学習や出前講座等のサポート活動 など

#### ●活動の経緯

- |       |                  |
|-------|------------------|
| 平成17年 | 供用開始             |
| 平成17年 | 子どもの水辺サポートセンター登録 |
| 平成19年 | 水辺の楽校登録          |
| 平成22年 | 菖蒲田エリア拡充         |

#### 所在地

東京都北区赤羽地先

#### 活動主体及び連絡先

北区・子どもの水辺協議会  
(03-3908-9275)

#### 対象となる社会資本

北区・子どもの水辺  
※管理者：東京都北区  
(代表：03-3908-1111)



手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集